

# 平成30年度福島県JR只見線復興推進会議

日 時：平成31年3月27日（水）  
13時30分～14時20分  
場 所：ホテル辰巳屋  
8階「瑞雲の間」

## 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- (1) 只見線利活用計画アクションプログラム2019等について
- (2) 只見線プロモーション動画等について
- (3) 只見線利活用推進体制について

4 閉 会

# 平成30年度福島県JR只見線復興推進会議 出席者名簿

日時：平成31年3月27日（水）13時30分～14時20分

場所：ホテル辰巳屋 8階「瑞雲の間」

No.	所属及び職名	氏名	代理出席	
			所属及び職名	氏名
1	福島県知事	内堀 雅雄		
2	会津若松市長	室井 照平	副市長	斎藤 勝
3	喜多方市長	遠藤 忠一	生活防災課 課長補佐	棚橋 浩
4	南会津町長	大宅 宗吉		
5	只見町長	菅家 三雄		
6	北塩原村長	小椋 敏一	副村長	小椋 涉
7	西会津町長	薄 友喜	副町長	工藤 倫也
8	磐梯町長	五十嵐 源市	副町長	橘 純一
9	猪苗代町長	前後 公		
10	会津坂下町長	齋藤 文英	副町長	日下 亮
11	湯川村長	三澤 豊隆		
12	柳津町長	井関 庄一		
13	会津美里町長	渡部 英敏		
14	三島町長	矢澤 源成		
15	金山町長	押部 源二郎		
16	昭和村長	舟木 幸一	副村長	草野 博行
17	新潟県交通政策局長	水口 幸司	副局長	田中 昌直
18	魚沼市長	佐藤 雅一	企画政策課まちづくり室 室長	猪又 孝
19	福島県企画調整部長	櫻井 泰典		
20	福島県生活環境部長	大島 幸一		
21	福島県観光交流局長	宮村 安治		
22	福島県農林水産部長	佐竹 浩		
23	福島県土木部長	杉 明彦		
24	福島県会津地方振興局長	佐久間 弘元		
25	福島県南会津地方振興局長	金子 隆司		

## <事務局>

1	福島県生活環境部 政策監	鈴木 勉
2	福島県生活交通課 課長	関根 昌典
3	福島県生活交通課 主幹	鶴巻 貴司
4	福島県生活交通課 主任主査	吉成 孝志
5	福島県生活交通課 主査	佐藤 友理恵
6	福島県生活交通課 副主査	安部 英亮

プロジェクト	主な事業	実績
<p><b>観光路線</b></p> <p>1 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト</p>	<p><b>企画列車の運行</b></p> <p>概要：列車内等で地酒や食の振る舞い、伝統芸能の披露など、会津地域ならではの体験をセットにした列車を運行。</p> <p>実施者：福島県</p>	<p>平成30年度は、企画列車を5回運行し、1,265名が参加した。団体貸切列車（風っこ号）を活用し、列車内や停車駅等で食や日本酒、伝統芸能をテーマとした地域一丸による企画を行った。</p>
<p><b>観光路線</b></p> <p>2 奥会津景観整備プロジェクト</p>	<p><b>景観支障木の伐採等</b></p> <p>概要：只見線沿線の景観や車窓風景を阻害する景観支障木の伐採等により、只見線の美しい景観を形成する。</p> <p>実施者：柳津町、三島町、金山町、只見町、福島県</p>	<p>柳津町、三島町、金山町、只見町、県が連携し、伐木やビューポイント整備の候補地について検討を重ね、景観整備を着実に実行するための全体計画及び年次計画を策定した。</p>
<p><b>教育路線</b></p> <p>3 只見線学習列車プロジェクト</p>	<p><b>学習列車の運行</b></p> <p>概要：自然・景観・歴史・暮らしなど、只見線沿線の学習資源を活用し、列車内で特色ある体験学習を実施する。</p> <p>実施者：福島県</p>	<p>平成30年度は、延べ12校、463名が参加した。住民による地域案内や、赤べこぼんの絵付け体験、天然炭酸水を使ったカルピスソーダ作りなど様々な企画を行った。</p>
<p><b>教育路線</b></p> <p>4 奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト</p>	<p><b>首都圏大学生との奥会津プロジェクト</b></p> <p>概要：金山町の多目的共同住宅等を活用し、首都圏大学生との交流活動を行う。</p> <p>実施者：会津大学等</p>	<p>首都圏の大学生等40名が参加した奥会津スタディツアーでは、「笑い飯哲夫」が金山町の瀧谷寺で仏教講座を行うなど、金山町の施設等を活用し、大学生による交流活動を実施した。</p>
<p><b>生活路線</b></p> <p>5 みんなの只見線プロジェクト</p>	<p><b>だんだんど〜も只見線沿線元気会議</b></p> <p>概要：只見線の復旧と存続、沿線地域の活性化に向け、各種取組を関係機関が連携しながら実施する。</p> <p>実施者：だんだんど〜も只見線沿線元気会議（新潟県）</p>	<p>夏、秋の臨時列車運行の際に、列車内でこども車掌体験を実施したほか、只見線プロレス列車や渡辺謙と行く只見線応援列車、只見線応援絵画コンクールなどを実施した。</p>
<p><b>産業路線</b></p> <p>6 只見線産業育成プロジェクト</p>	<p><b>六次化製品の開発・販路拡大</b></p> <p>概要：奥会津ブランドフェア等の展示会を開催し、奥会津の製品の知名度を向上させ、商品の販路拡大等に繋げる。</p> <p>実施者：奥会津振興センター</p>	<p>平成30年7月～12月に奥会津フェアにおいて、県内の飲食店等で、ヒメマス、南郷トマト、会津地鶏等を利用した料理を提供いただいたほか、3月1・2日に奥会津ブランドフェアを開催した。</p>
<p>7 只見線二次交通整備プロジェクト</p>	<p><b>道の駅を活用したパークアンドライド</b></p> <p>概要：道の駅等と連携し、自動車利用者のための駐車場を確保するとともに、周遊バスを活用した二次交通対策を実施する。</p> <p>実施者：福島県</p>	<p>只見線と接続した周遊バスを運行し、特に冬期間は台湾を中心にインバウンドで多く利用された。</p> <p>期間：8/11～11/25（夏秋51日） 利用者数：794名                  期間：1/1～2/28（冬59日） 利用者数：1,584名</p>
<p>8 只見線魅力発信プロジェクト</p>	<p><b>プロモーションの強化</b></p> <p>概要：只見線の広域的な多言語ウェブサイトを作成するほか、プロモーション動画を制作し、魅力を効果的に発信する。</p> <p>実施者：福島県</p>	<p>インバウンド向けのプロモーション動画を4本制作したほか、確実な情報を提供するための只見線ポータルサイトを制作し、国内外に魅力を発信した。</p>
<p>9 只見線プラットフォーム構築プロジェクト</p>	<p><b>受入体制の強化</b></p> <p>概要：外部有識者を招いてのワークショップ開催や観光人材の育成を行い、人的側面から受入体制の強化を行う。</p> <p>実施者：金山町・只見町</p>	<p>金山町や只見町、両町の商工会、観光団体により「只見線活用連携体制構築実行委員会」を新たに設置し、旅行商品の企画や特産品の開発、人材育成などを通じて観光客を迎える体制を整えることとした。</p>



(H30.9.15 第1回企画列車)



(H30.6.8 学習列車)



(H30.10 プロレス列車)



(H31.3 奥会津ブランドフェア)



(H30.8.11 あいづ二次交通出発セレモニー)



(観光人材育成講座)

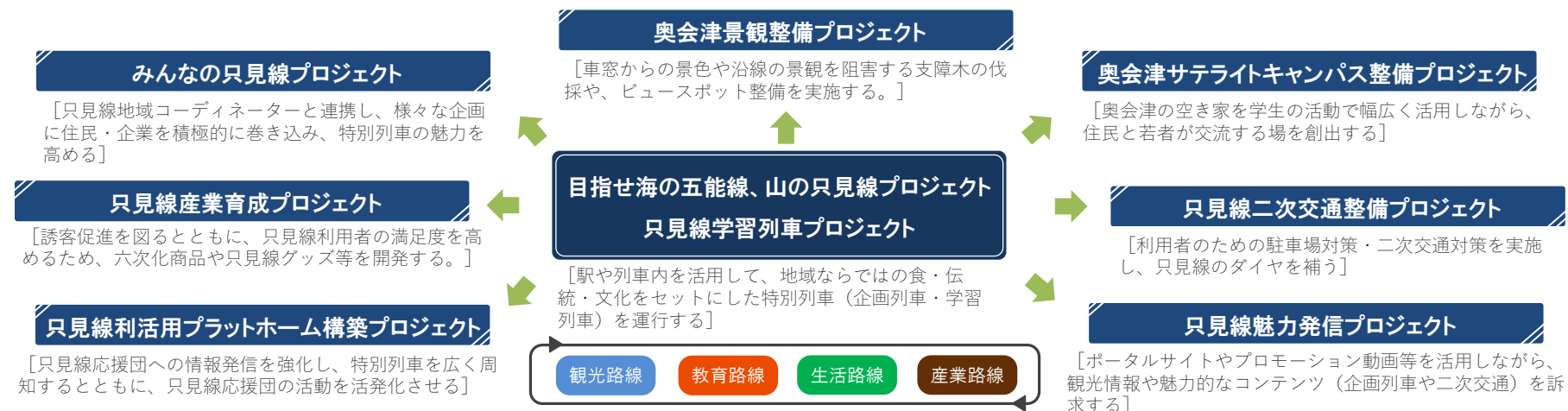


只見線利活用計画で位置付けた各プロジェクトについて、より実効性を高めるため、具体的な事業案を盛り込んだアクションプログラムを策定し、毎年度見直しを行いながら、各プロジェクトの進行管理を行う。

### 2019年度取組方針

只見線利活用計画の2年目となる2019年度は、関係者間の連携を一層強化するとともに、これまでの取組で積み重ねてきたデータやノウハウを基に事業を拡充し、さらなる地域資源の掘り起こし、磨き上げを行いながら交流人口の拡大を図る。

- 1 「目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト」及び「只見線学習列車プロジェクト」を基軸に発展的に事業を展開し、相乗効果をもたらせながら各プロジェクトを推進する。（イメージ下図）
- 2 取組の一元化を図るため、地元自治体はもとより、様々な企画に住民、企業、団体等を積極的に巻き込み、オール会津で「地方創生路線」の実現を目指す。
- 3 台湾定期チャーター便の運航を機に、只見線の更なる利用者増加を図るため、インバウンド向けの受入環境の整備を図るとともに、戦略的広報により国内外に只見線を強くPRし、新たな需要を掘り起こす。



# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（主要事業）

## 1 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト

観光路線

地域資源を掘り起こし、磨き上げながら、列車内で会津の自然や文化に触れることができる只見線ならではの企画列車を運行する。

（只見線利活用計画）

KPI 企画列車年間利用者数 3,600人(2022)

KGI 企画列車の定期運行



### 企画列車の運行

実施者 福島県

予算額 [福島県]只見線を活用した奥会津振興事業 24,278千円

地域が主体となり、只見線のガイドや車内や停車駅での地酒やご当地の食の提供、振舞いや伝統芸能の披露など、会津地域ならではの、ものづくりや伝統文化の体験をセットにした企画列車を運行する。

また、2019年度は、只見線ならではのおもてなしを行いながら、利用者数、利用者層（年齢・地域・家族構成等）、満足度などを測定し、将来的な通常ダイヤでの実施を目指す。



KPI 企画列車を年26回運行、参加者数3,520人

### （主な関連事業）

#### イベント列車運行時のおもてなし

イベント列車運行時の駅・車内でのおもてなしイベントの実施や、物産販売等を通して、只見線の利用促進を図るとともに、食、景観伝統芸能、おもてなしの心をアピールし観光客として再来いただく

[会津坂下町、柳津町] 予算額：会津坂下町40千円、柳津町106千円

#### 訪日外国人へのおもてなし

多くの訪日外国人が訪れる第一只見川橋梁ビューポイントで、秋と冬の時期におもてなしを実施するほか、町内を巡る周遊バスや通訳による案内、町総合パンフレットの多言語化など、着地型観光に取り組む。

[三島町] みしま観光ブランド構築のための外国人おもてなし事業 予算額：2,181千円

#### 霧幻峡(三更地区)の整備

霧幻峡により多くの観光客が訪れるよう、金山町三更地区において、観光トイレなどの環境整備を進める。

[金山町] 霧幻峡(三更地区)整備事業 予算額：11,900千円

#### 観光路線化に向けた実証事業

只見線観光推進専属スタッフを配置するほか、乗客へのおもてなしや、観光ルートの造成、パーク&ライドの実施など、只見線の観光路線化に向けた実証事業を行う。

[只見町] 只見線観光路線化実証事業 予算額：13,000千円

## 2 奥会津景観整備プロジェクト 観光路線

奥会津の風景を阻害している杉や雑木を伐採し、ビュースポットを整備するなど、奥会津の美しい景観を形成する。

（只見線利活用計画）

KPI 杉の伐採箇所数 10箇所(2022)  
KGI ビュースポット・ポケットパークの整備  
自然散策路の整備

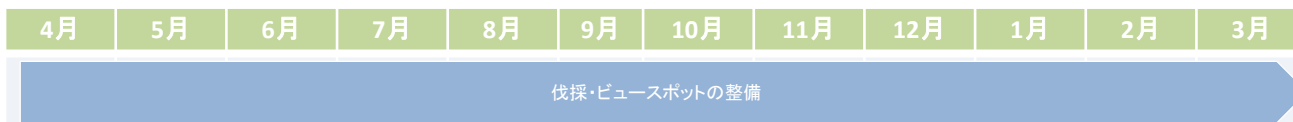


### 景観整備

実施者 **柳津町、三島町、金山町、只見町、福島県**

予算額 [柳津町]JR只見線活性化事業 626千円、[三島町]三島町ビューポイント環境整備 4,180千円、  
[金山町]只見線沿線景観整備事業 3,000千円、[只見町]只見線景観整備事業 1,000千円、  
[福島県]奥会津地域活性化推進事業 39,000千円、  
元気ふくしま地域づくり交流促進事業30,000千円

只見線沿線の景観や車窓風景を阻害する景観支障木の伐採や、只見線利用者が途中下車により眺望できるビュースポット整備により、新たな観光拠点の創出を図る。



KPI 伐採・ビュースポットの整備 9箇所(県3箇所、町6箇所)



### （主な関連事業）

#### ふくしまグリーン復興構想

自然公園について環境省と共同で策定する「ふくしまグリーン復興構想(仮称)」に基づき、自然資源や地域資源の活用による更なる魅力の向上と創出に向けた取組を行い、利用者数の拡大と地域振興を図る。

[福島県]ふくしまグリーン復興推進事業 予算額:48,759千円

#### 会津宮下駅前再整備事業

会津宮下駅において、駅前での更なる情報発信や地域特産品の提供、観光バス等交通量の増加による道路環境を含めた再整備の計画を策定する。

[三島町] 会津宮下駅周辺再整備事業 予算額:4,620千円

#### 観光案内板の改修

金山町において、観光案内板の整備を行い(3箇所を予定)、観光客の利便性を高め、町内観光スポットへの周遊性を高める。

[金山町]観光案内板改修事業 予算額:5,100千円

#### 駅周辺の環境整備

ボランティアが駅周辺の花壇やプランターに花を植えるなど、駅周辺の景観整備を行うことで、只見線利用者へのおもてなしを行うとともに、只見線の利用を促進する。

[只見町] つながれつなぐれ只見線応援事業補助金 予算額:3,200千円

## 3 只見線学習列車プロジェクト

教育路線

ダム、自然、暮らし、農業、食、体験など、地域の教育資源を活用しながら、駅や列車内で環境教育や体験学習を行う。

(只見線利活用計画)  
KPI 学習列車参加校 60校(2022)  
KGI 学習列車の持続的な運行



### 学習列車の運行

実施者 福島県

予算額 [福島県]只見線を活用した奥会津振興事業 22,464千円

自然・景観・歴史・暮らしなど、只見線沿線にある数多くの学習資源を活用し、列車内で特色ある体験学習を実施する。住民、企業、行政が一丸となって、学習列車で訪れる小学校の受入を行うとともに、地域の特色を活かした多彩な企画を実施する。

例)地元案内人による地域紹介、語りべ、奥会津編み組細工体験、赤べこ伝説



KPI 参加校50校、参加者数2,100人



### (主な関連事業)

#### 民間団体の利活用促進

小学校のPTA、公民館や高校の部活等に対して、只見線を活用したモデルコースを提案し、地域住民や民間団体による只見線の利活用を促進する。

[会津地方振興局] 民間団体の只見線利活用促進事業 予算額:295千円

#### 学習教材の作成・配布

只見線等、南会津地方の素材を使用した計算問題等を作成・配布し、小学6年生の自主学習教材として使用してもらうことで、地域愛の醸成等を図る。

[南会津地方振興局]  
地域を活かし、地域に尽くそう！南会津ふるさと教育事業 予算額:467千円

#### 只見線復旧支援ツアー

夏休み期間中、会津若松市内在住の小学校3~6年生を対象に、①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施する。

[会津若松市] 只見線復旧支援ツアー 予算額:700千円

#### 只見線アーカイブ

只見線の鉄橋等の復旧状況を定点カメラにて定期的に撮影し、町の資料や学習列車の教材として利用できるようにする。

[金山町] 只見線アーカイブ事業 予算額:916千円

## 4 奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト

教育路線

サテライトキャンパスを開設し、公開講座や学生のセミナーハウスなどとして活用することで、地域の拠点となる場を創出する。

（只見線利活用計画）

KPI 大学生等交流活動参加者数 1,000人(2022)

KGI サテライトキャンパスの新設

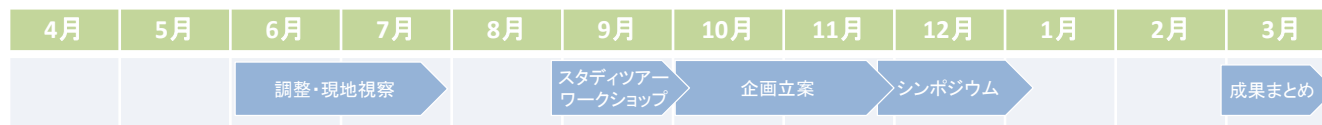


### 首都圏大学生等によるスタディツアー

実施者 会津大学・会津大学短期大学部・専修大学・拓殖大学・東京大学等(五十音順)  
 予算額 1,500千円

首都圏の大学生等によるスタディツアーを開催し、只見町の方々とJR只見線や地域資源を活用するアイデア創出ワークショップを実施する。

JR只見線の再開通を見据え、2019年度は、只見町に県内外の大学生等が集う拠点づくりを考察する。



KPI 首都圏大学生等によるスタディツアー参加者数 70名

### （主な関連事業）

#### 大学生の力を活用

過疎・中間地域の担い手不足を解消し、地域コミュニティを維持・確保するため、県内外の大学生の力を活用して集落活性化を図るとともに、大学生等が地域づくりを学びながら、地域との交流を継続することで、将来的な定住・二地域居住につなげる。

[福島県] 大学生等による地域創生推進事業 予算額:7,988千円

#### 多目的共同住宅の管理

多目的共同住宅の管理。冬期は一人暮らしの高齢者が共同生活を行う予定であるが、冬期以外は移住者のお試し住宅や大学生のセミナーハウスとしても活用可能となる。

[金山町] 多目的共同住宅事業 予算額:609千円

#### 空き家等を活用した移住者受入

奥会津共通の課題である空き家等を活用し、移住体験住宅による移住希望者の受入や補助金の活用による若者の起業支援等、地域の活性化につなげる。

[三島町] 三島町空き家・住宅改修費等補助金 予算額:11,250千円





## 5 みんなの只見線プロジェクト ～只見線に乗って～

生活路線

地域の機運を高め、マイルール意識を醸成することで、只見線の利用促進を図るとともに、来訪者へのおもてなしの心を醸成する。

（只見線利活用計画）

KPI 住民等による只見線利活用企画数 100本(2022)  
KGI 全住民参加型の利活用促進・受入体制整備、ダイヤ見直し

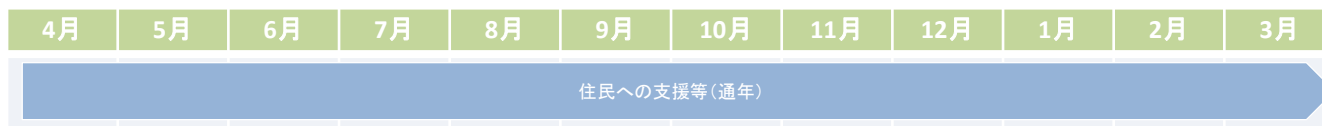


### 住民による利活用促進

実施者 金山町、只見町

予算額 [金山町]JR只見線復旧応援事業 3,000千円、  
[只見町]つながれつながれ只見線応援事業 3,200千円

住民の只見線復旧に向けた機運を醸成するとともに、只見線の利活用を促進するため、只見線応援イベントや只見線関連の商品開発など、只見線の利用や活性化につながる取組に対し、費用の一部を補助する。



KPI 只見線利用者数(補助分) 3,200人



### （主な関連事業）

#### 駅前冬季イルミネーション

只見線の復興と利用者へのおもてなしによる利用促進、地域の活性化に寄与することを目的として、冬期間中、イルミネーション事業を行い、駅前等を美しく彩る。

[会津美里町、会津坂下町、柳津町ほか]

#### 職員共助会による運賃助成

職員による只見線の利用促進を図るため、職員がツアー等で只見線を利用する際に、共助会(互助会)から運賃の助成を行う。

[会津美里町、柳津町ほか]

#### こども車掌体験等

臨時列車が運行する際に、子どもが車掌の衣装(男女で別のデザイン)に着替え、きっぷ確認など車掌の業務が体験できる等の企画を実施する。

[魚沼市観光協会] 予算額:未定

#### だんだんど～も只見線沿線元気会議

只見線の復旧と存続、沿線地域の活性化に向け、各種取組を関係機関(県、市、商工会、コミュニティー協議会等)が連携しながら活性化事業を実施する。

[だんだんど～も只見線沿線元気会議(新潟県)]

だんだんど～も只見線沿線元気会議事業 予算額:未定

## 6 只見線産業育成プロジェクト

産業路線

ガイドの養成や商品開発など、只見線を活用しながら、地域ならではの産業を育成することで、住民が活躍できる場を創出する。

(只見線利活用計画)

KPI 只見線関連商品開発数 30品(2022)

KGI 地域経済の活性化・住民が活躍できる場の創出

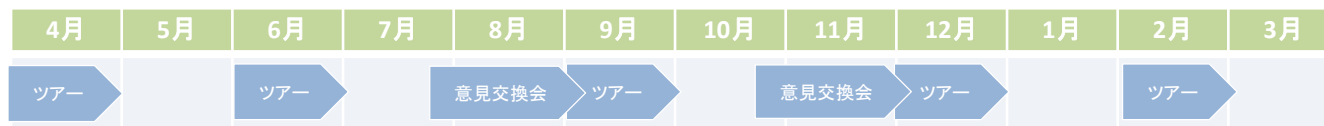


### 受入体制の強化

実施者 金山町、只見町

予算額 [金山町]・[只見町]JR只見線受入体制強化事業 1,600千円

2021年度の只見線再開通を見据え、外部有識者を招いて人的側面から観光客受入体制の強化を行う。具体的には、観光人材の育成や着地型旅行商品の造成、総合ガイドブックの作成など、有識者による助言を元に、官民連携による実践的な取組を行う。



KPI 受入ツアー実施回数 4本



### (主な関連事業)

#### 特産品等のブランディング

金山町にある多くの特産品等を活用し、観光客向けのおみやげとして商品ブランディング化を図るため、営業方法や販売方法等を改良する。

[金山町]地域特産品等ブランディング化事業 予算額:341千円

#### B級グルメ商品開発

只見線の各駅への下車目的を作るため、奥会津地域の食材を活用したB級グルメの開発とブランディング化を強化する。

[只見町]B級グルメ商品開発事業 予算額:3,000千円

#### モーダルシフトの推進

只見線を活用し、会津地域の特産品等を運送することで、只見線の利活用及び会津地域の活性化を図るとともに、持続可能な物流体験の構築を図る。

[JR只見線モーダルシフト等推進協議会] 予算額:未定

#### 六次化製品の開発・販路拡大

「奥会津フェア」や「奥会津ブランドフェア」等の展示会を開催し、奥会津の製品の知名度を向上させ、マーケティング調査等を通じ、商品のブラッシュアップや販路拡大に繋げる。

[奥会津振興センター]新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業  
(奥会津六次化製品開発・販路開拓事業) 予算額:2,847千円

## 7 只見線二次交通整備プロジェクト

二次交通事業の拡充や駐車場対策により、生活利用、観光利用の両面で、只見線の利用促進を図る。

（只見線利活用計画）

KPI 只見線駅と接続する新規路線数 6路線（2022）

KGI 只見線を核とした公共交通網の構築



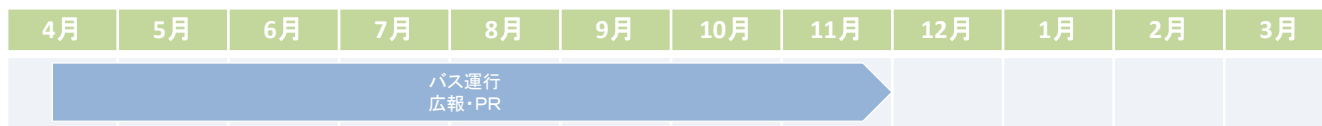
### 只見線と接続する周遊バスの運行

実施者 福島県

予算額 [福島県]来て。乗って！あいづ二次交通強化支援事業 11,224千円

大型駐車場を保有する道の駅等と連携し、只見線利用者のための駐車場を確保するとともに、観光周遊バスを活用した二次交通対策を実施する。

地域資源を巡る観光周遊バスにより、只見線と周遊バスを接続させたモデルを作りながら、只見線の乗り継ぎの悪さを補うことで、只見線の利用者数を増やす。



KPI バス利用者数 2,000人



### （主な関連事業）

#### 第一只見川橋梁への二次交通

会津宮下駅から第一只見川橋梁ビューポイントへの二次交通事業を年間を通して実施する。最もピークとなる秋、冬の時期には町内を巡る周遊バスも運行する。

[三島町]町営バス運行事業

予算額:28,707千円

#### 乗合タクシー運行

JR只見線、会津バスと共に、金山町の地域公共交通機関としての役割を担う乗合タクシーを運行する。一部の便は、住民だけではなく、観光客等も利活用が可能。

[金山町]乗合タクシー運行事業

予算額:35,740千円

#### 会津田島駅・只見駅間の二次交通

東京（浅草）、日光、鬼怒川方面からの誘客を促進するため、会津鉄道の会津田島駅から只見駅間（国道289号）において観光二次交通事業を実施する。

[只見町]定期路線ワゴン自然首都・只見号運行事業 予算額:14,400千円

#### タクシープランの造成

多様化する外国人観光客のニーズに対応するため、貸切の小型タクシーによるオーダーメイド型タクシープランを造成し、外国人観光客を沿線地域に誘導することで観光復興を図る。

[奥会津振興センター]奥会津二次交通確保事業 予算額:800千円

## 8 只見線魅力発信プロジェクト ■■■■

只見線のプロモーションを強化し、ウェブページやSNS、テレビなど、様々な媒体により、地域の魅力を発信する。

（只見線利活用計画）

KPI 首都圏の只見線認知度 40%（2022）

外国人宿泊旅行者数（奥会津地域） 4,800人（2022）

KGI 全国から注目を集め、只見線に乗ってもらう。



### プロモーションの強化

実施者 **福島県**

予算額 [福島県]只見線プロモーション強化事業 21,183千円

主要駅でのポスター掲出、デジタルサイネージでのPRなど、様々な媒体によるプロモーションを行うほか、吉本興業等連携し、只見線の認知度を向上させるとともに、只見線の利用者増加に繋げる。

平成30年度に制作した只見線ポータルサイトやプロモーション動画等を活用しながら、只見線の観光情報や魅力的なコンテンツ(企画列車や二次交通)を訴求することで、観光動機を喚起する。



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委託契約・ 広報時期の検討		県内向け 広報		夏版ポスター		旅行雑誌等			冬版ポスター		

KPI **ポスター掲出駅 60駅**

### （主な関連事業）

#### 台湾チャーター便

台湾チャーター便運航に係る空港会社及び旅行会社への総合的な支援を行うとともに、定期路線の再開・拡充、さらには国内外からのチャーター便誘致に向けた支援等を行う。

[福島県] 福島空港復興加速化推進事業 予算額:388,081千円

#### 奥会津のPR強化

旬な情報を効果的に情報発信するため、テレビ・インターネット等様々なメディアを用いて流域内のイベント情報や観光・物産情報を紹介し、「歳時記の郷 奥会津」の知名度を高める。

[奥会津振興センター] 新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業  
(奥会津広域観光PR事業) 予算額:20,446千円

#### 只見線代行バスのラッピング

只見町、金山町の共同事業として代行バスのラッピングを行い、両町の誘客促進と只見線の利用者増加を図る。

[金山町・只見町] 代行バスラッピング事業 予算額:1,836千円

#### フォトコンテストの開催

地域全体のさらなる復興の機運を盛り上げるため、フォトコンテストを開催する。さらに応募作品は当協議会を通じて広く活用することで、只見線沿線地域・奥会津地域をPRし、観光交流人口の拡大を図る。

[奥会津振興センター] 只見線のある風景写真コンテスト事業 予算額:720千円

## 9 只見線プラットホーム構築プロジェクト

只見線応援団を活用しながら、各団体が活動しやすい環境を整備するとともに、住民主体の推進体制構築に向けて土台作りを行う。

(只見線利活用計画)  
 KPI 只見線応援団企画参加者数 1,000人 (2022)  
 KGI 住民主体の推進体制構築

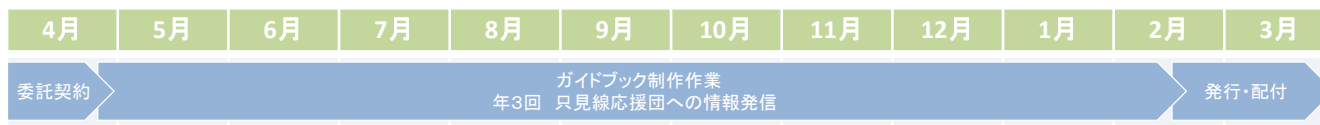


### 只見線ガイドブックの制作

実施者 只見線利活用推進協議会

予算額 [福島県]只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業 7,075千円

只見線の魅力や地元の取組の集大成である只見線ガイドブックの制作を通して、市町村や只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と協働しながら、新たな周遊ルートの開発や地域の魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。



KPI 只見線ガイドブック A4・26頁、70,000部発行

### (主な関連事業)

#### 只見線応援団に対する情報発信

只見線の復旧状況や只見線利活用計画の概要、各団体・住民の活動状況について、地域住民や只見線応援団へ周知することで、只見線の復旧に向けた利活用の機運を高める。

[福島県] 只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業 予算額: 2,671千円

#### 地域コーディネーター活動

地域の幅広い方々の橋渡し役を担う、只見線地域コーディネーターを中心に、只見線の復旧に向けた機運を醸成するとともに、地域一体となった利活用促進を図る。

[福島県] 予算額: 1千円

#### 只見線応援団の募集

只見線の早期復旧と利活用促進を図るため、県、会津17市町村において、只見線の復旧に心を寄せていただく応援団の会員を募るとともに、只見線の利活用を促進するための広報活動を行う。

[福島県] JR只見線復旧推進事業 予算額: 536千円

#### PRイベント

県外において只見線のPRイベントを開催し、只見線の魅力を伝えるとともに、只見線応援団の募集を行う。

[只見町] JR只見線利用促進実行委員会 予算額: 3,000千円

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	福島県	只見線を活用した奥会津振興事業（企画列車）	企画列車の定期運行に向けた実証実験により、利用者数、利用者層（年齢・地域・家族構成等）、満足度などを測定するとともに、利用者の拡大を図る。	24,278
2	会津坂下町	イベント列車運行時のおもてなし	イベント列車運行時に駅でのおもてなしや物産販売等を行い、只見線の利用促進を図る	40
3	柳津町	J R 只見線活性化事業	あわまんじゅうの振る舞い等のおもてなしを実施することで、只見線の利用活性と次年度以降のイベント列車運行に繋げる。また、柳津町の食、景観、伝統芸能、おもてなしの心をアピールし観光客として再来していただくことを目的とする。	106
4	柳津町	J R 只見線活性化事業	会津柳津駅前公衆トイレの改築を予定。2019年度は改築にかかる実施設計を行う。現在 J R と協議中。	2,000
5	三島町	みしま観光ブランド構築のための外国人おもてなし事業	多くの訪日外国人が訪れる第一只見川橋梁ビューポイントで、秋と冬の時期におもてなしを実施するほか、町内を巡る周遊バスや通訳による案内、町総合パンフレットの多言語化など、着地型観光に取り組む。	2,181
6	金山町	文化財の整備	金山町の文化財となっている施設の整備を行う。町全体の文化財の施設を再整備を行うことで観光客が訪れる場所とする。優先順位の高い場所から行うが、将来的には只見線の駅から徒歩圏内の施設の再整備も行う予定。	2,234
7	金山町	インバウンド対応事業	近年、台湾、東南アジアからなどの外国人旅行者の増加にともない、町内の受け入れ体制を外国人向けにも整備していく。昨年度の事業の結果からターゲットとなる観光客像をある程度具体的に設定し、その結果にあわせて着地型旅行商品（観光客を受け入れる観光地側の旅行業者が企画して販売するオプションツアー）の造成、旅行商品の素材の開発、営業用パンフレットの作成、営業活動、販売、旅行商品の見直しを行う。	2,881
8	金山町	霧幻峡（三更地区）整備事業	霧幻峡により多くの観光客が訪れるよう、金山町三更地区において、観光トイレなどの環境整備を進める。	11,900
9	只見町	只見線観光路線化実証事業	只見線観光推進専属スタッフを配置し、只見線沿線の地域資源の魅力を観光客に訴求するため、小出駅～只見駅間における乗車客へのおもてなしや、只見駅到着後から出発時間までの観光ルートの造成、パーク＆ライドの実施など只見線の観光路線化に向けた実証事業を行う。	13,000
10	魚沼市観光協会	臨時列車の運行	新潟県の補助金を活用した臨時列車の運行。 詳細は未定だが、夏休みの期間など、増便することにより利便性を高め、沿線の誘客につなげる。	未定

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	福島県	奥会津地域活性化推進事業	奥会津の地域資源である只見川沿川の四季折々の美しい景観を活かし、只見線利用者が途中下車により眺望できるビュースポットを整備し、新たな観光拠点の創出を図る。	39,000
2	福島県	元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業	地域資源を活用した住民主体の地域づくりを支援するため、地域づくり団体・市町村とともに交流人口の拡大に結びつく戦略を策定し、ソフト・ハードの両面からの地域活性化を図る。	30,000
3	福島県	ふくしまグリーン復興推進事業	自然公園について環境省と共同で策定する「ふくしまグリーン復興構想（仮称）」に基づき、自然資源や地域資源の活用による更なる魅力の向上と創出に向けた取組を行い、利用者数の拡大と地域振興を図る。	48,759
4 【主要】	柳津町	J R只見線活性化事業	只見線沿線の支障木の伐採をすることで、只見線の美しい景観の整備を行う。	626
5 【主要】	三島町	三島町ビューポイント環境整備	多くの外国人が訪れる第一只見川橋梁ビューポイント。遊歩道の利便性向上を実施する。	4,180
6	三島町	会津宮下駅前再整備事業	J R只見線の三島町の玄関口である会津宮下駅。駅前での更なる情報発信や地域特産品の提供、観光バス等交通量の増加による道路環境を含めた再整備の計画を策定する。	4,620
7 【主要】	金山町	只見線沿線景観整備事業	沿線の風景維持のための支障木伐採事業。平成30年度は調査・伐採計画の策定を行った。平成31年度から策定した計画に沿って伐採を本格的に開始する。	3,000
8	金山町	金山町景観整備事業	住民や訪れる人々が気持ちよく過ごせるようなきれいなまちづくりを行うために景観整備を行う事業。大志のビュースポットの草刈りや除雪もこの事業で行う。	6,407
9	金山町	観光案内板改修事業	観光案内板の整備を行い、町内観光スポットへの周遊性を高める。	5,100
10 【主要】	只見町	只見線景観整備事業	景観整備計画に基づき、只見線沿線の景観を阻害している支障木の伐採を行う。	1,000

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

只見線学習列車プロジェクト	整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
	1 【主要】	福島県	只見線を活用した奥会津振興事業（学習列車）	自然・景観・歴史・暮らしなど、只見線沿線にある数多くの学習資源を活用し、列車内で特色ある体験学習を実施する。住民、企業、行政が一丸となって、学習列車で訪れる小学校の受入を行うとともに、地域の特色を活かした多彩な企画を実施する。	22,464
	2	会津地方振興局	民間団体の只見線利活用促進事業	只見線地域コーディネーターと連携し、小学校のPTA、公民館や高校の部活等に只見線を活用したモデルコースを提案し、地域住民や民間団体の只見線の利活用を促進する。	295
	3	南会津地方振興局	「おいでよ！南会津。」教育旅行誘致促進事業	南会津郡内において、環境学習を実施する学校への助成、受入体制整備等を行う。	26,300
	4	南会津地方振興局	地域を活かし、地域に尽くそう！南会津ふるさと教育事業	只見線等、南会津地方の素材を使用した計算問題等を作成・配布し、小学6年生の自主学習教材として使用してもらうことで、地域愛の醸成等を図る。	467
	5	会津若松市	只見線復旧支援ツアー	夏休み期間中、会津若松市内在住の小学校3～6年生を対象に、①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施する。	700
	6	金山町	只見線アーカイブ事業	只見線の鉄橋等の復旧状況を定点カメラにて定期的に撮影し、町の資料や学習列車の教材として利用できるようにする。	916
奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト	整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
	1 【主要】	会津大学等	首都圏大学生等によるスタディツアー	首都圏の大学生等によるスタディツアーを開催し、只見町の方々とJR只見線や地域資源を活用するアイデア創出ワークショップを実施する。 JR只見線が再開通した際に、県内外の大学生が只見線で奥会津へ行くことを想定し、2019年度は、只見町に若者が集う拠点づくりを考察する。	1,500
	2	福島県	大学生等による地域創生推進事業	過疎・中間地域の担い手不足を解消し、地域コミュニティを維持・確保するため、県内外の大学生の力を活用して集落活性化を図るとともに、大学生等が地域づくりを学びながら、地域との交流を継続することで、将来的な定住・二地域居住につなげる。	7,988
	4	三島町	空き家を活用した移住者受入	奥会津共通の課題である空き家等を活用し、移住体験住宅による移住希望者の受入や補助金の活用による若者の起業支援等、地域の活性化につなげる。	11,250
	5	金山町	多目的共同住宅事業	多目的共同住宅の管理。冬期は一人暮らしの高齢者が共同生活を行う予定であるが、冬期以外は移住者のお試し住宅や大学生のセミナーハウスとしても活用可能	609



# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1	南会津地方振興局	J R只見線利活用促進事業	新潟県と只見町による只見線を活用した交流促進のため、沿線観光資源を巡るモニターツアーを実施する。	513
2	会津美里町	駅前冬季イルミネーション事業	只見線利用者に沿線地域の良さを知っていただく機会と、駅前の冬季イルミネーションによるおもてなし。	32
3	会津美里町	会津美里町職員共助会による只見線運賃助成事業	只見線の利用促進を図るため、会津美里町職員共助会員（家族を含む）が只見線を利用した際の運賃を助成する。	200
4	会津坂下町	駅前イルミネーション	只見線の復興と利用者のおもてなしによる利用促進、地域活性化に寄与することを目的として、町内事業者等から協賛金と集め、冬期間（12月～1月）に会津坂下駅前をはじめ、町内を美しく彩る。	-
5	会津坂下町	只見線応援キャラクター「キハちゃん」によるPR活動	協議会所有の只見線応援キャラクター「キハちゃん」を使用して只見線のPR活動を実施	-
6	柳津町	霊まつり流灯花火大会事業	花火大会を通して観光客の誘客、只見線の利用促進を図る。	13,000
7	柳津町	イルミネーション&ライトアップ事業	会津柳津駅周辺、及びまちなかで季節に合わせたイルミネーション、ライトアップを実施しまちなか活性化、誘客促進を図る。	200
8	柳津町	職員互助会による助成事業	只見線及び代行バスを利用するツアーに対して助成をおこない、利用促進を図る。	-
9	柳津町	会津柳津駅待合室暖房管理事業	只見線利用者に快適に会津柳津駅を利用してもらえよう、冬期間の待合室における暖房管理をおこなう。	420
10 【主要】	金山町	JR只見線復旧応援事業	JR只見線の利活用促進。只見線のりおり倶楽部事業を立ち上げ、町民の只見線の乗車促進を中心に、町のイベントに只見線の利用で訪れた観光客にもノベルティ等を用意する等只見線の利用促進を図る。	3,000
11 【主要】	只見町	つながれつなぐれ只見線応援事業	町民の只見線利用や只見駅前などでの只見線応援イベントの実施、只見線関連の商品開発に対する費用の一部について補助金を交付する。	3,200
12	J R只見線利用促進実行委員会	只見線利用啓発事業	只見線グッズやP Rポスター、チラシの作成を通して、町民の意識向上と只見線の利用促進を図る	800
13	魚沼市観光協会	こども車掌体験	5月25、26日の臨時列車の運行に合わせて実施する。車掌の衣装（男女で別のデザイン）に着替え、きっぷ確認など車掌の業務を体験する。	未定

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

只見線産業育成プロジェクト	整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
	1 【主要】	金山町 只見町	JR只見線受入体制強化事業	2021年度の只見線再開通を見据えて、観光客にとって金山町が魅力的な観光地となるように、外部有識者を招いて人的側面から観光客受入体制の強化を行う。具体的には着地型旅行商品の造成、総合ガイドブックの作成など有識者による助言を元に実践的を取組を官民連携して行う。	1,600
	2	金山町	地域特産品等ブランディング化事業	金山町にある多くの特産品等を活用し、観光客向けのおみやげとして商品ブランディング化を図るため、営業方法や販売方法等を改良する。	341
	3	只見町	B級グルメ商品開発事業	只見線の各駅への下車目的を作るため、奥会津地域の食材を活用したB級グルメ商品開発とブランディング化を強化するための広報事業	3,000
	4	奥会津振興センター	奥会津六次化産品開発・販路開拓事業	「奥会津フェア」や「奥会津ブランドフェア」等の展示会を開催し、奥会津の製品の知名度を向上させ、マーケティング調査等を通じ、商品のブラッシュアップや販路拡大に繋げる。	2,847
	5	JR只見線モーダルシフト等推進協議会	モーダルシフトの推進	只見線を活用し、会津地域の特産品等を運送することで、只見線の利活用及び会津地域の活性化を図るとともに、持続可能な物流体験の構築を図る。	-

只見線二次交通整備プロジェクト	整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
	1 【主要】	福島県	来て。乗って！あいつ二次交通強化支援事業	大型駐車場を保有する道の駅等と連携し、只見線利用者のための駐車場を確保するとともに、観光周遊バスを活用した二次交通対策を実施する。	11,224
	2	三島町	町内観光周遊バスの運行	多くの外国人が訪れる第一只見川橋梁ビューポイント。ビューポイントへの二次交通を年間通して実施。最もピークとなる秋、冬の時期には町内を巡る周遊バスも運行する。	29,456
	3	金山町	会津バス運行存続事業	会津川口駅から昭和村への公共交通としての役割を担う会津バスへの経済的支援を行う。	6,350
	4	金山町	乗合タクシー運行事業	只見線、会津バスと共に金山町の地域公共交通機関の一部としての役割を担い、運行している。一部の便は町民でなくても利用でき、只見線の二次交通の役割も担う。	35,740
	5	只見町	定期路線ワゴン 自然首都・只見号運行事業	東京（浅草）、日光、鬼怒川方面からの誘客を促進するため、会津鉄道の会津田島駅から只見駅間（国道289号線）において観光二次交通を運行する。	14,400
	6	奥会津振興センター	奥会津二次交通確保事業	多様化する外国人観光客のニーズに対応するため、貸切の小型タクシーによるオーダーメイド型タクシープランを造成し、今後ますますの増加が見込まれる外国人観光客を只見線沿線と奥会津地域に誘客することで観光復興を図る。	800

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	福島県	只見線プロモーション強化事業	主要駅でのポスター掲出、デジタルサイネージでのPRなど、様々な媒体によるプロモーションを行い、只見線の認知度を向上させるとともに、只見線の利用者増加に繋げる。	21,183
2	南会津地方振興局	「おいでよ！南会津。」都市・農林交流拡大事業	南会津地方の魅力を多方面に発信するため、南会津地方のポータルサイト「おいでよ！南会津。」を運営する。	8,341
3	南会津地方振興局	「観て。南会津。」動画作成事業	南会津の良さが伝わる映像による南会津の知名度向上、誘客を図る。	473
4	会津美里町	只見線に関する情報発信事業	只見線の利用促進や全線普及に関する情報を町広報誌や町ホームページで発信する。	
5	金山町	SNSを使った金山町や只見線の観光PR・情報発信事業	金山町や只見線の魅力を観光客に伝えるため、facebookなどのSNSを活用した情報発信事業を行う。金山町に魅力を感じたインバウンドなど多くの観光客が訪れることにより、只見線に乗り乗る人数が増え、金山町を訪れた観光客がSNSを活用して金山町や只見線の魅力を情報発信することにより、さらに多くの人々に金山町や只見線を知るきっかけとなる。	7,916
6	金山町	金山町観光情報センター運営事業	町の玄関口である会津川口駅の構内にて観光のPRを行う。	4,846
7	金山町	代行バスラッピング事業	会津川口～只見間は平成23年度の豪雨により鉄道による運行が出来ない状況である。現在その区間は代行バスが運行しているが、只見町と共同で代行バスに只見線の気動車のラッピングをすることで只見線の利用客の増加と、奥会津への観光振興を目指す。	935
8	只見町	只見線代行バスラッピング事業	只見町、金山町の共同事業として代行バスラッピングを行い、両町の誘客促進を図る。	935
9	奥会津振興センター	未来に残したい奥会津風景写真コンテスト	奥会津の豊かな自然や風景または只見線の風景を題材にした写真コンテストの開催を通じて、その魅力を多くの人に伝え、奥会津のファンを増やし、誘客に繋げる。	870
10	奥会津振興センター	広域観光PR事業（メディア活用事業）	「歳時記の郷・奥会津」の認知度を高め、より多くの観光客が訪れ、地域活性化が図れるよう、各種広報媒体（テレビ・ラジオ・新聞・情報誌等）を用いて戦略的なPR活動を展開する。 また、「奥会津の旅（改訂版）」の発行や動画の作成により、只見線を含む奥会津の四季折々の魅力を伝え、観光誘客に繋げる。	16,204
11	魚沼市観光協会 だんだんど～も 只見線沿線元気 会議	只見線ギャラリートレイン事業	鉄道風景画家、只見線応援絵画コンクール入選者等の作品展示をした「ギャラリートレイン」を運行し只見線に新たな話題を提供し、魅力を発信する。31.5.11臨時列車運行	220

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019（各プロジェクト事業一覧）

只見線プラットフォームホーム構築プロジェクト

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1 【主要】	只見線利活用推進協議会	只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業（ガイドブック）	只見線の魅力や地元の取組の集大成である只見線ガイドブックの作成を通して、市町村や只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と協働しながら、新たな周遊ルートの開発や地域の魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。	9,747
2	福島県	只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業（只見線応援団広報）	只見線の復旧状況や只見線利活用計画の概要、各団体・住民の活動状況について、地域住民や只見線応援団へ周知することで、只見線の復旧に向けた利活用の機運を高める。	2,671
3	福島県	JR只見線復旧推進事業	只見線の早期復旧と利活用促進を図るため、県、会津17市町村において、只見線の復旧に心を寄せていただく応援団の会員を募るとともに、只見線の利活用を促進するための広報活動を行う。	536
4	JR只見線利用促進実行委員会	只見線利用促進イベント	県外において只見線のPRイベントを開催し、只見線の魅力を伝えるとともに、只見線応援団の募集を行う。	3,000



# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019 【参考】県関連事業

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1	生活交通課	只見線を活用した奥会津振興事業（企画列車） 【再掲】	企画列車の定期運行に向けた実証実験により、利用者数、利用者層（年齢・地域・家族構成等）、満足度などを測定するとともに、利用者の拡大を図る。	24,278
2	まちづくり推進課	奥会津地域活性化推進事業 【再掲】	奥会津の地域資源である只見川沿川の四季折々の美しい景観を活かし、只見線利用者が途中下車により眺望できるビュースポットを整備し、新たな観光拠点の創出を図る。	39,000
3	まちづくり推進課	元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業【再掲】	地域資源を活用した住民主体の地域づくりを支援するため、地域づくり団体・市町村とともに交流人口の拡大に結びつく戦略を策定し、ソフト・ハードの両面からの地域活性化を図る。	30,000
4	自然保護課	ふくしまグリーン復興推進事業【再掲】	自然公園について環境省と共同で策定する「ふくしまグリーン復興構想（仮称）」に基づき、自然資源や地域資源の活用による更なる魅力の向上と創出に向けた取組を行い、利用者数の拡大と地域振興を図る。	48,759
5	生活交通課	只見線を活用した奥会津振興事業（学習列車） 【再掲】	自然・景観・歴史・暮らしなど、只見線沿線にある数多くの学習資源を活用し、列車内で特色ある体験学習を実施する。住民、企業、行政が一丸となって、学習列車で訪れる小学校の受入を行うとともに、地域の特色を活かした多彩な企画を実施する。	22,464
6	会津地方振興局	民間団体の只見線利活用促進事業【再掲】	只見線地域コーディネーターと連携し、小学校のPTA、公民館や高校の部活等に只見線を活用したモデルコースを提案し、地域住民や民間団体の只見線の利活用を促進する。	295
7	南会津地方振興局	「おいでよ！南会津。」教育旅行誘致促進事業 【再掲】	南会津郡内において、環境学習を実施する学校への助成、受入体制整備等を行う。	26,300
8	南会津地方振興局	J R只見線利活用促進事業 【再掲】	新潟県と只見町による只見線を活用した交流促進のため、沿線観光資源を巡るモニターツアーを実施する。	513

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019 【参考】県関連事業

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
9	生活交通課	来て。乗って！あいづ二次交通強化支援事業【再掲】	大型駐車場を保有する道の駅等と連携し、只見線利用者のための駐車場を確保するとともに、観光周遊バスを活用した二次交通対策を実施する。	11,224
10	生活交通課	只見線プロモーション強化事業【再掲】	主要駅でのポスター掲出、デジタルサイネージでのPRなど、様々な媒体によるプロモーションを行い、只見線の認知度を向上させるとともに、只見線の利用者増加に繋げる。	21,183
11	南会津地方振興局	「おいでよ！南会津。」都市・農林交流拡大事業【再掲】	南会津地方の魅力を多方面に発信するため、南会津地方のポータルサイト「おいでよ！南会津。」を運営する。	8,341
12	南会津地方振興局	「観て。南会津。」動画作成事業【再掲】	南会津の良さが伝わる映像による南会津の知名度向上、誘客を図る。	473
13	只見線利活用推進協議会	只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業（ガイドブック）【再掲】	只見線の魅力や地元の取組の集大成である只見線ガイドブックの作成を通して、市町村や只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と協働しながら、新たな周遊ルートの開発や地域の魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。	9,747
14	生活交通課	只見線利活用プロジェクト推進体制強化事業（只見線応援団広報）【再掲】	只見線の復旧状況や只見線利活用計画の概要、各団体・住民の活動状況について、地域住民や只見線応援団へ周知することで、只見線の復旧に向けた利活用の機運を高める。	2,671
15	生活交通課	JR只見線復旧推進事業【再掲】	只見線の早期復旧と利活用促進を図るため、県、会津17市町村において、只見線の復旧に心を寄せていただく応援団の会員を募るとともに、只見線の利活用を促進するための広報活動を行う。	536
16	地域政策課	福島ゆかりのコンテンツによる地域活力創造事業	本県ゆかりの特撮やアニメ等のコンテンツを地域の宝として見直す機運を醸成しつつこれを有効に活用しながら福島県全域の活力創出を図るとともに、市町村や関係団体と連携してコンテンツ分野の人材の育成及びコンテンツを通じた人材の育成を推進する。	64,058

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019 【参考】県関連事業

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位:千円
17	自然保護課	スタートアップふくしま尾瀬事業	尾瀬の優れた自然環境を体感するツアーやアウトドア関連企業との連携による尾瀬の魅力体験するフェスティバル等を開催するとともに、SNS、動画、雑誌、多言語対応ガイドブックなどを活用した国内外への情報発信により「ふくしま尾瀬」を広くPRする。	55,877
18	生活交通課	ふくしま地域公共交通強化支援事業	地域住民、交通事業者、市町村が連携し、持続可能な公共交通を構築するための取組を行う市町村や、広域二次交通を確保する事業者等の取組に対して支援を行う。	51,739
19	観光交流課	「ふくしまプライド。」ツーリズム推進事業	「ふくしまプライド。」をブランドコンセプトとし、県産農産物等の安全性やクオリティの高さ、誇りをもって旅行客をお迎えする飲食店、旅館、農園等、観光事業者の顔の見えるストーリーを新たな観光の魅力として、本県が誇る多彩な「食」をフックとした新しい観光誘客を図る。	14,011
20	観光交流課	人気キャラクターを活用したふくしまスマイル事業	世界的に認知度の高いキャラクターを活用して、広域周遊企画や地域鉄道の利用促進アプリやSNSを利用した観光イベントを開催し、地域の活性化や主に若年層、ファミリー層の誘客を図る。	28,894
21	観光交流課	ふくしまの食によるインバウンド誘客促進事業	本県へ外国人旅行者を呼び込むため、首都圏の集客力のある施設でのPRやモニターツアーなどの実施により認知度を高めていくほか、福島県の観光地でしか味わえない食の磨き上げや旅行商品の造成、食のコンテスト開催、口コミサイトの活用など食と観光を融合した誘客策を展開する。	45,827
22	観光交流課	福が満開福のしま観光復興推進事業	風評払拭と本県観光の本格的な復興に向け、浜通りの復興に焦点を当てたホープツーリズムの推進や、各温泉地のリピーター促進など地域の観光魅力づくりの取組に対する支援、テーマ別観光周遊企画の展開、閑散期の誘客強化のための秋冬観光キャンペーンなどを実施するとともに大規模なコンベンションの誘致を図る。	516,195
23	観光交流課	福島インバウンド復興対策事業	本県のインバウンドの拡大と地域活性化に向け、体験コンテンツの充実や人材育成など受入体制の整備を進めるほか、重点国・地域におけるマーケティングに基づく市場別のニーズをとらえたプロモーションを戦略的に展開するとともに、外航クルーズ船の誘致による観光誘客・消費拡大を図る。	742,556

# 只見線利活用計画 アクションプログラム2019 【参考】県関連事業

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
24	観光交流課	教育旅行復興事業	教育旅行の復興のため、貸切バス運賃の制度改正に伴うバス料金の値上がりに対する経費の一部補助を行うとともに、教育旅行誘致キャラバンや情報発信等を行う。また、長期宿泊需要の見込まれる学生の合宿の誘致を図る。	316,168
25	地域振興課	地域創生総合支援事業	住民主体の個性と魅力にあふれる地域づくりを推進するため、市町村・民間団体等が実施する地域活性化の取組を支援するとともに、地方振興局を中心とする出先機関が、地域課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域の実情に応じて事業を企画・実施する。	889,872
26	生活交通課	J R 只見線復旧事業	不通となっている J R 只見線会津川口駅～只見駅間の鉄道復旧による利便性向上と只見線を核とした地域振興を図るため、J R 東日本が実施する復旧工事に要する費用の補助等の事業を行う。	1,627,078
27	空港交流課	福島空港復興加速化推進事業	台湾定期チャーター便運航に係る航空会社及び旅行会社への総合的な支援を行うとともに、定期路線の再開・拡充、さらには国内外からのチャーター便誘致に向けた航空会社や旅行会社等への支援、空港のにぎわい創出やビジネス利用拡大等の各種事業を展開する。	388,081
28	地域振興課	新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業	「人が住み、集まる魅力的な奥会津」を目標に、只見川電源流域7町村等が実施する只見川電源流域振興計画を支援し、奥会津の交流人口の拡大、地域産業の振興と雇用の安定確保につなげる。	191,591
29	地域振興課	福島に来て。交流・移住推進事業	地域の担い手となる人材を確保するため、交流人口や関係人口の拡大を図りながら、本県の魅力の情報発信及び移住者等の受入体制づくりを強化するとともに、市町村等が行う受入環境整備の取組を支援するなど、本県への移住促進を図る。	182,616
30	消費生活課	首都圏等消費者交流事業	県産品の主要消費地から消費者を招き、県内の生産者や流通事業者らが進める放射性物質低減の取組や放射能測定検査の状況について紹介するとともに、放射能に関する説明を行い、正確な情報・知識の普及と拡散を図る。	22,134



## 1 四季編 (2分32秒)

春の桜。初夏に出現する川霧。そして峡谷が茜色に染まる紅葉と冬の雪景色。四季折々の表情を見せる只見線沿線の風景を映像で綴る。



## 2 アクティブ編 (3分26秒)

ロードバイク（自転車）やカヌー、スノーボードのほか、地域の祭りなど、四季を通じて様々なアクティビティが楽しめる沿線の魅力を紹介。



## 3 タイムラプス編 (2分41秒)

一定間隔で撮影した映像をつなぎ合わせて映像化するタイムラプス。タイムラプス映像クリエイターの清水大輔氏が只見線と沿線の風景を描く。



## 4 旅情編 (3分08秒)

台湾の女優、ウー・シンティが只見線沿線を巡り、雪景色と列車が織り成す風景や味覚、伝統行事を体験する。



## 只見線利活用推進体制について（案）

### 1 趣 旨

只見線の利活用を促進するためには、平成 30 年3月に策定した只見線利活用計画に基づき、県・会津 17 市町村等が実施する取組の相乗効果が発揮されるよう、官民が一体となった体制を構築する必要がある。

このため、平成31年4月中を目途に、新たな推進体制として、『只見線利活用推進協議会（仮称）』（以下、「推進協議会」という。）を設立し、只見線が日本一の「地方創生路線」として、生活路線、観光路線、教育路線、産業路線で利活用され、それらが循環し成長することで、何れでも乗りたい・訪れたいと思える路線・地域となることを目指す。

### 2 推進協議会について

(1) 推進協議会は、「福島県JR只見線復興推進会議」（会長：知事）の下部組織として位置づける。

(2) 構成員

福島県、沿線8市町、観光商工団体ほか

(3) 協議事項

- ア 只見線の利活用事業の連携・調整に関する事
- イ 只見線の利活用促進活動に関する事
- ウ 只見線の情報発信に関する事
- エ その他

### 3 事務局について

推進協議会の事務局は、福島県生活環境部只見線再開準備室に置く。

※各構成員は、引き続き、アクションプログラムに掲げる事業や、只見線の利活用に資する事業を展開する。

※その他、全体会議のほか、必要に応じて幹事会等を開催する。